



▲ 船上から見る六連島



▲ 下関竹崎港 ←→ 六連島の船 (市営)



▲ 山頂に建立されている雲母玄武岩の碑 (天然記念物)

呼ばれている。島への定期船はJR下関駅の近く竹崎町の港から出ており、島までの所要時間は二十五分。日に四便が往復している。島の西側に佇むと、人影のない岩場と白砂の海岸が静かに横たわり、対面の島々の景観が一きわ美しく感じられた。

島の地質は新第三紀の山陰火山岩(玄武岩・安山岩)が島の中程に位置し、周囲は古

第三紀芦屋層群(泥岩・砂岩)である。特に玄武岩は、灰黒色をなし石肌の小さな穴は黒雲母の結晶がキラキラ光っていて、金雲母玄武岩と称され世界的に珍しく貴重なものであることから、昭和九年一月二十二日、国の天然記念物に指定されている。県の教育委員会が発行した「山口県の文化」には、

「この雲母は直径四ミリ、六角の薄いウロコ状の結晶体で、水平にあるいは斜めに、あるいは垂直に孔隙の内壁に付着している。また孔隙内と石基に直径二、三ミリの黒色角閃石の美しい斜状結晶があり強い光を放っている。これは玄武岩が海底で第三紀層を貫いてほとぼしり出て、冷却するとき孔隙を生じ同時に黒雲母と角閃石を生じたものである」と記さ